江津市図書館だより

通巻 290 号

# 清心

11 2026 年 月号

江津市図書館 ホームページはこちらから！

## 読書週間イベント レポート

10 月の読書週間イベントへのご来場、ありがとうございました。期間中に行った企画を写真でご紹介します。




↑「あなとしょ」購入本一挙展示



↑本のリユース市



↑風のえんがわさん出店（OK デイ）



↑シーリングスタンプ体験会





↓デジタルで旅する江津の万葉（出前講座）



## 歴史探訪会のごあんない

身近な町の旧跡などを解説をまじえて巡る「歴史探訪会」。今年は桜江地域の歴史を知るコースをご案内します。どなたでもご参加いただけますので、どうぞお気軽にお申込みください。

●日時　11 月 17 日（火）
　午前 9：00～午後 0：30

●探訪コース
　今田水神大けやき、大元神楽伝承館、
　藤長寺三十三仏·鋳物師跡と鐘、甘南備寺

●現地案内
　市山神友会前会長 竹内修二氏
　本会役員 中西一郎理事、平野勇治事務局長

●募集定員　20 人
　※定員を超えた場合はお断りすることがあります

●交通手段　ワゴン車

●参加費　一人 1,000 円

●集合場所　江津市総合市民センター駐車場
　（午前 9：00）

## 桜江分館休館日のおしらせ

桜江総合センターにおいて停電を伴う電気設備修繕が行われるため、下記期日は桜江分館を終日臨時休館といたします。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、本館は通常通り開館いたします。

▶ 桜江分館のみ休館となる日時 ◀

2026 年 11 月 21 日（土） 10：00～18：00（終日）

※休館中の返却は、返却ボックスをご利用ください

## 11 月の 休館日



■毎週火曜日
3・10・17・24 日

■桜江分館のみ休館日
21 日(土)

■月末休館日
30 日(月)

# 新着図書

※前月の 20 日頃までの新着図書の一部です

| 請求番号 | タイトル | 著者・監修者　他 |
|---|---|---|
| 09 | 郷土石見 No.123　2026.10 月刊 | 石見郷土研究懇話会 |
| 131.5 | 心穏やかに生きる哲学 | ブリジッド・ディレイニー |
| 147 | 死んだらどうなる？ | 中川昌蔵 |
| 210.5 | 江戸ノート | 山本昌代 |
| 291 | ヤバい日本の住所 | 河合太郎 |
| 326.2 | **これだけで、逮捕　「知らなかった」では済まされない２９の落とし穴** | 森雅人 |
| 369.1 | 図解でわかる民生委員活動 | 小林雅彦 |
| 410 | 暮らしの「なぜ？」から始める１日３問の数学レッスン | 秋山仁 |
| 493.1 | 血糖値が気になる人の「食べてよいもの・控えたいもの」大全 | 宇都宮一典 |
| 594.3 | かぎ針で編む つながるモチーフパターン | さかいはな |
| 596 | **ずっとおいしく食べるためのかむかむレシピ** | 牛尾理恵 |
| 645.6 | 春夏秋冬ねこほぐし　猫を整える季節ごとのマッサージ | 中桐由貴 |
| 750 | 楽しく作って！遊んで学べる！手作りごっこ遊び | あん |
| 798 | 杉山亮の鉛筆ゲーム大全集 | 杉山亮 |
| 816 | なぜあなたの感想はふつうなのか | 大島育宙 |
| 913.6 | 月曜のこない部屋 | 城山真一 |
| 913.6 | ゾンビ回収婦 | 小砂川チト |
| 913.6 | ハザードランプ | 芦沢央 |
| 913.6 | 紙上法廷 | 衣刀信吾 |
| 973 | プラハの墓地 | ウンベルト・エーコ |
| E | おまつりって、こわい？ | 樋勝朋巳 |
| E | **いもほり、てつだってくんねぇか？** | いわさきさとこ |
| E | ごきぶりねえさん　どこいくの？ | ミーム・アーザード |
| K480 | 図鑑いきもの飼ってみた カマキリを黄色い世界で育てたらどうなる？ | 森こんにゃく |
| K519 | **地球ゆうがいモンスター図鑑** | 下間文恵 |
| K685 | こども道路交通法　判例こども六法 | 山崎聡一郎 |
| K913 | いらないものがいる町で | 村上雅郁 |
| K913 | アリーチェと魔法の書 | 長谷川まりる |
| C | 【CD】RAY(通常盤) | BUMP OF CHICKEN |
| C726 | 漫画 いしぶみ 原爆が落ちてくるとき、ぼくらは空を見ていた | 広島テレビ放送編『いしぶみ』 |

善意だったのに…、知らなかった…では済まされない!!!
実際の逮捕事例を知って、無知からの脱却だ!

つい、柔らかいものを選びがちだけど、“噛む”ってほんと大事。誤嚥を防ぐし、しゃべる力にも関係するし。普段からの訓練よ!

焼き芋よりも、揚げ焼きしたおいもさんが好きです。
この時期、やめられな～い!

“ゆうがい”にしてしまったのは、人間なんだよなぁ。ワガママの代償か…

## ■ 江津市図書館 ■

【本　　館】〒695-0011 島根県江津市江津町 995 ■ TEL（0855）52-0551
FAX（0855）52-0552

【桜江分館】〒699-4226 島根県江津市桜江町川戸 11-1 ■ TEL/FAX（0855）92-0300

開館日：水曜日～月曜日　休館日：火曜日･毎月月末日･特別整理休館日･年末年始

開館時間：（通常業務）午前 10 時～午後 6 時

## 映画『聴く隣人のいるところ』　監督：早川嗣（ゆずる）
2026.6〜全国順次公開作品

**「みなさん 自由であってください そうして 真実であってください」創立者の詞**

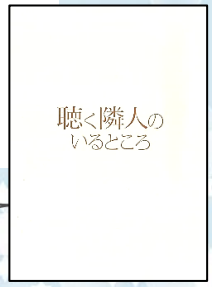
実際「隣人」と言えるほど近くにある学校でありながら、全くというほどその実態を知らなかった愛真高校。前々から行きたかった益田市の映画館で上映(8 月)されていることを知ったのはまったくの偶然でした。ちょうど「対話」について関心が向いていたことも足を運ぶ力になりました。

パンフレットには監督の言葉として、この映画に（作り手側の虚飾や演出によっての）「嘘がないことを出演者たちに確認したとあり、さらに映画冒頭では「愛真卒業生である自身の学校生活の記憶をある時期拒絶していた」と言われ、ちょっと学校の PR や布教のような部分を想像していたのがここで覆されました。

では一体どんな内容なのだろうと好奇心 100%で臨んだ本編は、在校 35 期生（2024 年度卒業）を中心に歌う楽しさや意見を出しあう自由、信仰や人間関係の葛藤、便利さを極力排した不自由さへの矜持を持った日々が映し出されていました。全然違っていたはずなのになぜか自分にとっての「その頃」の感情や、懐かしい景色のようなものが思い出される作品だと感じました。
信仰ある故に成立しているのだとは思いますが、信仰の垣根も、欲を言えば学校という垣根も取っ払ってあらゆる人にとっての「聴く隣人のいるところ」がもっとあればいいのにと思わずにはいられません。

※今後の公開予定（公式サイトより）
12/4〜10 岡山：シネマ・クルール
12/12〜1/8 山口：萩ツインシネマ

パンフレットを展示しています
ぜひご覧ください！（貸出可）



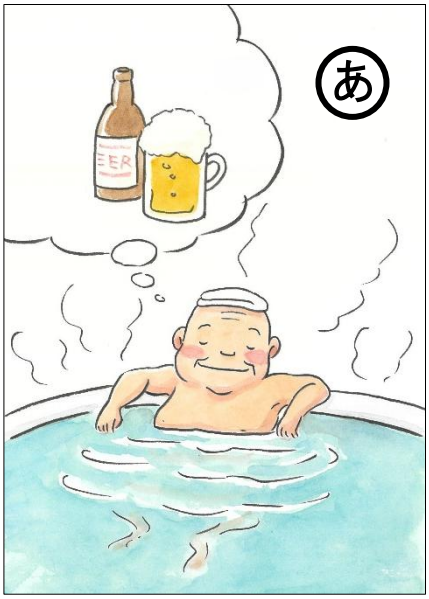




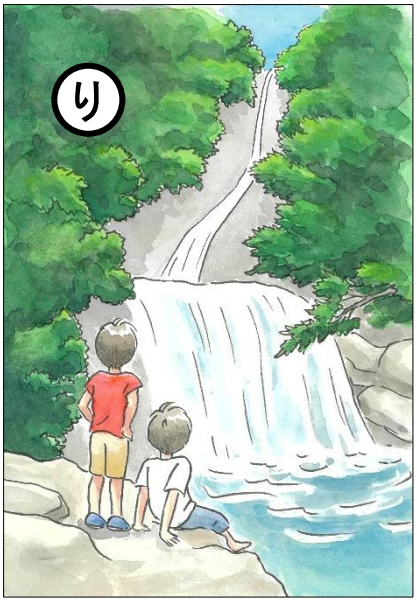
連載 ⑧

あ【有福のお湯で癒され飲むビール】

り【涼もとめ 滝を詣でる 岩瀧寺】




有福温泉に入った事はないので想像で描いてみた。
温泉に入って鼻歌うたって、あがったらビールを飲む。
正に極楽ですな。

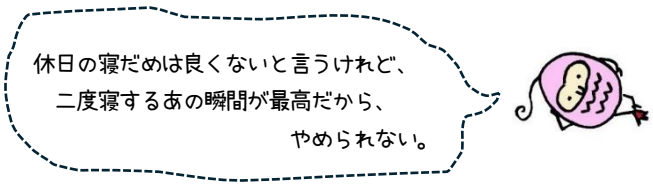



岩瀧寺の滝へ30年ぶりに行ったら景色が変わっていた。
昔は険しい山道を歩いてたどり着いたのに、今では車で行って階段を下りるだけだ。
札の絵は昔行った時のイメージで。




おや？
当館キャラクターの　“ ヨンデルン ”が、
職員たちの雑談に聞き耳を立てていますよ。
今月はどんな話をしているんでしょう…？

A：9 月にシルバーウィークがありましたけど、もし 1 週間休みがあったら何したいですか？
C：どこか行きたい！って気持ちはあるんだけど、連休は人が多いしな〜。
B：家でゆっくり映画観るのもいいよね。今日は映画の日って決めて一気観♪
A：せっかくなら、お茶とお菓子セッティングしてね♪
D：昔は江津にも映画館があったから気軽に行けましたよね〜。行くとすれば、出雲か益田か…。
B：近くにあったらすぐ行くんだけどな。
A：ずっと気になってるんだけど、ふすまの貼替、草抜き、カーテン洗う…とかもしたい。
D：そういうのって腰が重いですよね〜。頭の中にずっとあるけど、体も休めたいし。
A：ちなみに、網戸の貼替は気分上がるからおすすめ♪
D：網戸の貼替って難しそう〜！
B：『団地のふたり』でご近所さんの網戸の貼替に回る話ありましたよね。
C：網戸ではないけど、昔ボランティアで障子の貼替に回ったことあったな〜。
B：まさに同じじゃん！
D：私は連休があったら、遠方の仲良い友達とか昔お世話になった人にお菓子を配って回りたくて。
一同：すご〜い！
D：会いたい人に会ったら元気もらえると思うんですよね。自分もテンション上がるし！
A：良い生き方してるわ〜。
C：確かに久しぶりに人に会うっていいですよね。先日同窓会があったんですけど、楽しすぎて数日余韻に浸ってました(笑)
B：何かの節目がないとそうやって集まることってないよね。企画してくれた人に感謝だ。
A：やりたいことって頭の中にはたくさんあるんだけど、いざ休みになるとできないんだよな〜。
B：なんで休みってあんなあっという間に過ぎていくんですかね？
C：二度寝に昼寝も重ね、よし、やろう！って思った頃にはもう夜になってる(笑)
D：休みもだけど、今年もあっという間に終わっちゃいますよ。どうします？
A：1 年が早すぎて怖い(汗)
C：この会話、今の時期になると毎年してますよね。きっと来年もこの時期に…。




＼今月のおすすめ／

『サブスクに観たい映画多すぎて、結局、観ない夜ありすぎ』（778）
『団地のふたり』（913）
『今あるもので「あか抜けた」部屋になる。』（597）

## 雑記帳　税金

消費税引下げが大きなニュースになっています。R9年4月から食料品等の消費税が1%へ引下げられ、R11年4月にもとの8パーセントに戻ることになりました。

有史以来税金によって国家が運営されてきました。『魏志倭人伝』によると、人々が食べ物や絹を邪馬台国女王卑弥呼に収めていた記録があるようです。

飛鳥・奈良時代には律令制により租庸調の制度がありました。平安・鎌倉・室町時代には荘園制が発達し、土地の収穫を基準にした年貢や労働義務が中心になりました。商工業者に対し座役の税も課されました。

太閤検地以降江戸時代には石高に応じ年貢を村単位で納めました。ほかに現金や特産品を納める運上金・冥加金もありました。江戸期までは米や特産物、労働義務が税の中心でした。

明治以降現金で納めるようになり現代に至っています。経済発展や社会変化に伴い多様な税目が整備され複雑な税体系になっています。

《参考文献》『ポプラディア』（ポプラ社）・『税に関する18の質問』（財務省）・『マンガでわかる！税金のすべて』（須田邦裕監修）・『日本の税金』（三木義一）